

妙高市の小川百合子さん(93歳)は、6年前にご主人を亡くした後、長男夫婦と同居しながら、

おばあちゃんを襲った突然の病



リショーネで元気になった小川さんご家族とスタッフ

ある日の夕方、百合子さんがなかなか帰宅しないのを心配した家族が、自宅裏で倒れている百合

に立ち続けたことが自慢の、とても元気なおばあちゃんでした。

46年間休まず朝市で、主人と二人三脚で、

畑が得意で、珍しい野菜を作るのが好きだったという百合子さん。ご

リショーネでみんな笑顔

在宅介護

特集



電動車いす



電動ベッド

リショーネPlus

プラス
床ずれ防止用具



これ1台で多機能



介護リフト

ベッドが車いすに変身！ 新発想の離床支援ロボット

「リショーネ」は、ベッドと車いすを分離合体させることによって、ベッドと車いすの移乗介助を手助けする商品です。

介護度の高い方が「寝床」から離れる「離床(りしょう)」をしやすくするため、寝たきりになりがちな方の「生活の質」の向上がはかれます。

また、ベッドから車椅子に移る際のケガや、介助する方の腰痛などのリスクも軽減し、介助する方も受ける方も安楽に使用できるアシストロボットです。



コミュニケーション
ロボット
ベッパ
「pepper」

★寝転がっていると、ベッドが真ん中で分かれているのを全く感じさせない心地の良さに驚きます。分離合体するときは、大きな衝撃や音もなく非常にスムーズ。介護する側と受ける側の顔を見合わせられる距離・位置で操作できるので、安心して身を任せられました。

さくらメディカル㈱は、バナソニックエイジフリー㈱と協力し、新潟県下でどこよりも先行してこの「リショーネ」の普及推進をしています。

家族は「残り少ない命を自宅で見守りたい」と、在宅での介護を選びました。

最期は住み慣れたわが家で

介護用ベッドをレンタルし、ヘルパー(訪問介護)と訪問入浴サービスを利用しながらの、ほぼ

寝たきりの生活ではありましたが、「人は食べるものが出来なくなっちゃえばおしまいだから」と話していた百合子さんに、できるかぎり口から食事を摂らせてあげたいと、胃ろうは造設せず、家族みんなで懸命にサポートしました。

そんな中、百合子さんのご主人の7回忌法要を行うことになり、できれば百合子さんにも仏壇の前でお参りさせてあげたいと、家族は車椅子のレンタルを希望しました。

揚石医院の樋口ケアマネジャーとさくらメディ

カルの横山福祉用具専門相談員は、百合子さんの身体状況、住環境、家族の介護力など、様々な条件が整っていることから、『リショーネPlus』を提案し、レンタル開始となりました。

寝たきりから彩りある豊かな生活へ

リショーネを使い始めて2カ月。百合子さんを訪ねると、大変顔色もよく、笑顔で迎えてくれました。

ベッド⇄車椅子の分離・合体ともに、家族も「すっかり慣れた」そう。百合子さんとの息もピッタリ。手際よく操作されていました。



食事は、車椅子に分離しダイニングへ移動して摂られているとのこと。もともと座っていた席で、再び家族と一緒にテーブルを囲むことができるようになった。窓の外を眺めたり、テレビを見たりしながら、ご自分のペースでゆっくりと食事を楽しまれています。

また、毎朝仏壇にお経をあげるのが日課だったという百合子さん。「またこうやって、お父さんに手を合わせることが出来るようになってよかったですね」と声を掛けると、ご主人の遺影を見上げて静かに微笑んでいました。

春からはデイサービスへも通い始めました。新聞の折り込みチラシを読むのが好きで、お買い得品のチェックも欠かしません。自宅へ戻られると「今日も良かった」といつも喜んでおられるそうです。



仏壇と遺影に手を合わせる

自分らしい生き方をあきらめない

「リショーネPlus」の利用で、身体状況が改善し、活動範囲も広がったことで、ますますお元気になられた百合子さん。

サイズ、角度、使用感もピッタリで「まるで百合子さんのために作られたベッドみたい」と、ケアマネジャーの樋口さんも感心しています。

「余命2カ月と言われていたのがウソのようだ」と目を丸くする家族に、「お父さんよりも長生きしなくちゃ」と茶目つ気たっぷりに笑う百合子さんの顔は、艶々と輝き、幸せに満ち溢れていました。

住み慣れたわが家で、家族の愛情に囲まれて、百合子さんは今日も元気に暮らしておられます。

特別寄稿
リショ－ネは「魔法のベッド」です

揚石医院
ケアマネジャー
樋口 美帆



私たちケアマネジャーの仕事は自立支援です。「楽しく暮らすこと」

「できることは自分でやること」、少しでもそれに近づけるように、ご本人の心身機能向上とご家族の介護負担軽減の支援を行うことが、私たちの役割であると考えています。

百合子さんは今年初めに大病をされ、約3週間の入院を経て自宅に戻ってこられました。

「連れて帰ろう」と決心したご家族の姿に心を打たれ、少しでも役に立ちたい！百合子さんとご家族に、笑顔で安心して暮らしてほしい！と、大勢の専門職の方が支援をして下さり、少しずつこ

ご自分でおいしいご飯を

状態が改善しました。『リシ－ネPlus』を導入してからは、さくらメディカルの福祉用具専門相談員と理学療法士が何度も訪問し、きめ細かなサポートをしてくれましたので、ご家族も負担感なく操作や介助を行なっている様子です。

起きている時間が多くなってきたことで、食欲が増し、表情もよくなり、会話が弾むようになりました。久しぶりに会ったご次男夫妻が、食も動きも良くなった姿



髪をとかして素敵な笑顔

を見て感激されたそうです。住み慣れたわが家で、ご家族と共に過ごし、ご自分でできることも増えました。生活が豊かになり、みんなを笑顔にしてくれたリシ－ネは、まさに「魔法のベッド」です!!

健康をとりもどす

離床

＝起きることの

大切さを実感

南魚沼市の老人ホームで暮らすSさん（90歳）は9年前にくも膜下出血を発症しました。後遺症を患ったことにより、全ての動作に介助を要するようになり、ヘルパーと訪問看護のサービスを利用しながら、ベッド上で寝たきりの生活を送っていました。

体力の低下により、自力で動くことができず、車椅子への移乗も困難な状況だったため、Sさん

の安全を第一に考えていた家族は、なるべくSさんに負担がかからないようにと、ベッド上で安楽に過ごすことを優先してきました。

寝たきりの状態が長くなるにつれ、床ずれや拘縮の進行も懸念される中、『リシ－ネPlus』のモニター利用を開始し、以降、現在も継続してご利用中です。

これまでの2人がかりでの介助から、1人での

介護ロボットラインナップ

パナソニックエイジフリー株式会社
「リシ－ネPlus」離床アシストロボット

転倒リスクや介助者負担の大きい移乗動作に革新。ベッドが分離し、電動フルリクライニングの車いすになります。毎日同じ天井を眺める生活からの脱出。行きたいところへ介助者と移動できます。

RTワークス株式会社「RT.2」
ロボットアシストウォーカー

電動アシストで上り坂楽々、下り坂は適度に減速し安心。傾い



介護簡単メニュー



夏野菜のグラタン

ナスはポリフェノールが多く含まれており、体内を活性化し疲れを解消する働きがあるとされています。

トマトも、リコピン、βカロテンなどが含まれ、抗酸化ポリフェノールが豊富です。血糖値を下げる働きがあり、

ダイエット効果もあると言われています。栄養満点の夏野菜を食べて暑い季節を元気に乗り切りましょう!!

ペーパーで水気を拭きとっておきます。フライパンにサラダ油をひき、軽く焦げ目がつく程度に焼いて皿に取り出します。

①フライパンにサラダ油をひき、合いびき肉100gを中火で炒めます。

③トマトは皮をむいて5mm幅の輪切りにします。

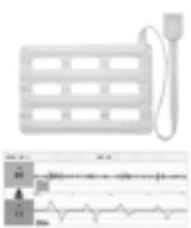
②ナス（中3個）は、ヘタを取って1cm幅の輪切りにし、水にさらしてから出しをした後キッチン

④グラタン皿に、ナス↓ひき肉↓トマトの順に重ね入れ、最後にとろけるチーズ（適量）をのせてオーブントースター（1200W）で10〜12分焼いてできあがりです。

（介護食士 板倉寛子）

システム

寝ているご利用者様の下にセンサーを敷きこみ、心拍・呼吸・体動・離床をリアルタイムでお知らせするシステムです。



株式会社知能システム「PARO」

アザラシをモデルにした動物型ロボット。

「世界でもっともセラピー効果があるロボット」としてギネスブックにも認定されています。

人工知能の働きで飼育主の行動を学習し、心を癒します。



ソフトバンクロボティクス株式会社「Pepper ペッパー」

なめらかな関節の動きで表現力豊かなコミュニケーションロボット。

多彩なアプリでカスタマイズでき、レクリエーションやお話見守りまで活躍の場は今後ますます拡大しそうです。



富士ソフト株式会社「PALRO パルロ」

全高40cmのかわいらしいサイズのコミュニケーションロボット。健康体操やレクリエーション、日常会話など、全身を動かして表現します。



おかげさまで2周年 さくらホームサービス

平成27年9月に開設した「さくらホームサービス」は、介護保険外の自費サービスを始めて、まもなく2周年を迎えます。これまで約240人の方にサービスをご利用頂きました。

最も依頼の多かった通院の付き添いをはじめ、娯楽・趣味・旅行などの付き添い、散歩、話し相手や見守り等も承っています。

たとえ介護が必要な状態であっても自分らしく楽しみ、希望に満ち溢れた日常生活を送って頂けるよう、地域で支え合い、ご自宅での暮らしのお手

伝いをさせて頂きたいと

スタッフ一同
頑張っています。

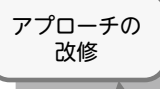
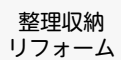
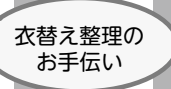
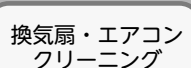
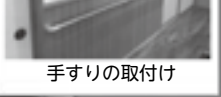
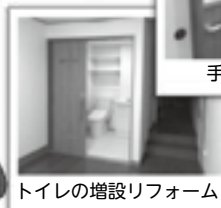
さくらメディカルの 住宅改修

福祉住環境部では介護保険の住宅改修サービスをはじめとして、高齢者障がい者向け住宅のリフォームを手がけています。福祉用具の営業マンが快適な住環境のプランをご提案し、それを私た

スマイとヒトのサポートで 在宅生活をより快適に

福祉住環境部

- ◎福祉リフォーム
- ◎シニアリフォーム



ホームサービス

◎家事サービス



多様な連携で最適なサービスをご提案

さくらメディカルでは、「さくらホームサービス（家事サービス）」と「福祉住環境部（住宅改修）」が相互に連携を取りながら、よりお客様の希望に沿った最適なサービスをご提案しています。

あるときは、住宅改修工事の際に、施工様より長年愛用されているソファのリフォームのご相談を受け、ホームサービススタッフが汚れの除去や破れの補修を行いました。

またあるときは、浴室の換気扇掃除、広範囲のカビ取りのご依頼を受け、福祉住環境部と相談し専門業者を手配しました。どちらも「見違えるほどきれいになった」と大変

から余暇を過ごされためのシニアリフォームのご相談まで頂くようになりました。

ご利用者様の財産である住宅。重ねてこられた時間を感しながらも、現在のニーズとこれから必要になるであろう環境まで見据えて、最適なご提案をさせて頂きます。ご利用者様、ご家族様

喜んで頂きました。

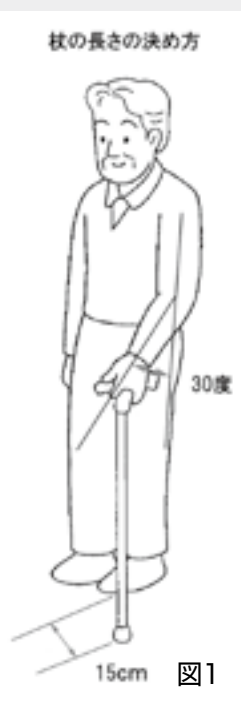
ご予算、内容等お客様のご希望を伺った上で、まずはお見積もり（無料）

介護ショップからのご案内

正しい使用方法で安全に快適に！ 杖の基本的な正しい使い方

【長さの調整】

軽く肘を曲げた状態で握れる高さが一般的に力が入りやすいといわれています。足先より15cmほど外側に杖先を置いて、肘を30度くらいに曲げた高さに合わせてください。（図1）なお、極度な円背のように、使用者の姿勢や歩き方によっては、その方に合わせた調整が必要となるため、心配な方は専門のスタッフにご相談ください。



杖の長さの決め方

図1

自立するので手を離しても倒れない！ 杖先ゴム



※杖（別売）に取り付けた状態

【杖先の変更】

使用中の杖の先端ゴムを付け替えるだけで、斜めから地面を突いてもしっかり地面を捉え、安定した歩行ができます。（図3）



図3

先端が曲がり、接地面が広いので、安定感が違います！

これがオススメ

フジホーム
替えゴム4点 DX
1,836円(税込)
穴径：16mm、19mm
重量：185g

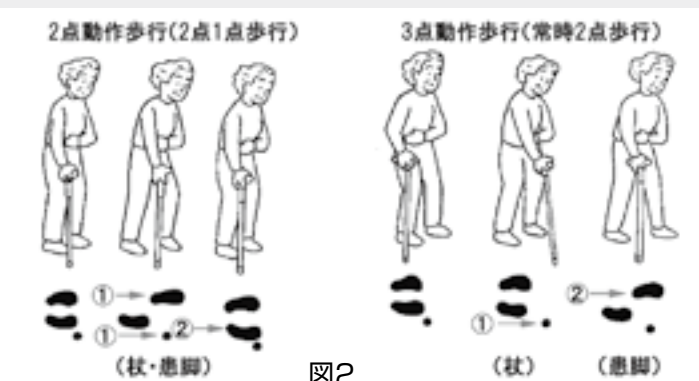


図2

【平地歩行】

杖は基本的には、健側につき、患側への荷重量を減らすことを目的としています。不安定な場合には、3点動作歩行を行い、安定している場合には2点動作で歩行し、安全に歩行しましょう。（図2）

をさせて頂きます。
どんなお困りごとでも、
ぜひお気軽にご相談ください。

【お問合わせ】

●さくらホームサービス
☎025-522-1015（担当：筒井）
●福祉住環境部／住宅改修
☎025-522-3391（担当：木浦）



在宅介護にロボット活用

新時代到来!!

最近テレビや新聞で「介護ロボット」という見出しをよく見かけるようになってきました。

ロボットと聞くと、四

①移乗介助



装着型動力補助

②移動支援



動力補助付き手押し車

角い顔、四角い体、カクカク動くような、子供の頃遊んだおもちゃのロボットをイメージする人は多いと思います。テレビで見ていた「鉄腕アトム」や「ドラえもん」のような人型ロボットは、優しくて、力持ちで、困っている人を助け、どんな問題でも解決してくれる憧れのヒーローでしたが、それはあくまで、SFや漫画の世界の創造物にすぎませんでした。

そんな、夢のまた夢、遠い未来の話だと思って

生き物詩リリース

詩 国見 修二（詩人・上越詩を読む会 妙高市）
絵 山本みゆき（子どもへの読み聞かせサークルでの活動 上越市）

アリジゴク

アブラゼミの声！
ラジオ体操の子ども達
静かにすり鉢状の土の底で
牙を研ぐ

地獄の顔から天使が生まれた
ウスバカゲロウ

泥から咲く蓮の華かも？



介護ロボットに関する国の政策

年度	担当省庁など	事 項
2012年度	経済産業省 厚生労働省	「ロボット技術の介護利用における重点分野」を策定
2013年度	閣議決定	日本再興戦略
	経済産業省	ロボット介護機器開発・導入促進事業（2013年度～）
	厚生労働省	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（2013年度～）
	経済産業省 厚生労働省	「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂
2014年度	経済産業省	ロボット介護機器導入実証事業
	閣議決定	「日本再興戦略」改訂 2014
2015年度	閣議決定	「ロボット新戦略」を策定
	厚生労働省	介護ロボット導入支援事業（2015年度～）
2016年度	厚生労働省	介護ロボット開発等加速化事業（2016年度～）
	厚生労働省	介護ロボット等導入支援特別事業
	閣議決定	ニッポン一億総活躍プラン
2017年度	厚生労働省	介護ロボット導入支援及び導入効果実証研究事業
	未来投資会議	新たな医療・介護・予防システムの構築に向けて

いたことが、いま、少しずつ現実となるべく動き出しているのです。

政策は開発から実用化へ

経済産業省の「ロボット政策研究会中間報告書（2006年5月）」では、ロボットを「センサ

ー、駆動系、知能・制御系の3つの技術要素（ロボテクノロジ）を有する機械システム」と定義しています。

センサで感知し、コンピュータの判断によりアクションを起こす、といった機能を有するものであればロボットとするようです。

介護ロボットは、①移乗介助、②移動支援、③排泄支援、④見守り、⑤入浴支援のいずれかの場

面において使用され、本人や介護者の負担を軽減できるものとして開発がすすめられてきました。そしていよいよ開発から普及へと、政府は実用化に向けアクセルを加速させています。

⑤入浴支援



浴槽出入り支援機器

④見守り



外部通信機能付きセンサー

③排泄支援



室内設置型排泄機器

出典：「経済産業省ロボット介護機器開発・導入促進事業研究基本計画」より

ロボットの活用で在宅生活をもっと豊かに

さくらメディカルでは、業界の動向をいち早くキャッチし、在宅サービスにおいても、介護ロボットを積極的に取り入れることで、ご利用者様のさらなる自立支援に貢献す

べく、普及活動に取り組んでいます。「あきらめかけていたこと」「できないと思っていたこと」を最新の技術でサポートし、より質の高い、より豊かな在宅

弊社は来年、おかげさまで創業30周年を迎えます。記念行事に先駆け、去る4月22日に、リーグジョンプラザ上越にて、日頃の運動不足解消と、社員とそこご家族との交流を目的に、第1回目となる大運動会を開催しました。

当日は新潟・長岡・上越の各ブロックより参集した精鋭たちが、4チーム対抗で熱戦を繰り広げました。

春のおだやかな日差しの下、家族とともに無邪気なころを思い出し、笑いあり、感動あり、サプライズありで、大盛り上がりで過ごした一日：数あるシーンの中から、躍動感あふれる一コマをご紹介します。

第1回さくらメディカル大運動会



真剣勝負の綱引き。チーム団結して大盛り上がり



チームワークがものをいう大玉小玉送り。落とさないようにそおーっとすばやく



なつかしいパンくい競争。パンが動いて取れません

～桜のように舞い 跳び 輝け!!～

優勝は赤チーム（長岡ブロック）。社長より真新しい優勝トロフィーが贈られました。初代優勝チーム堂々たるこの笑顔



運営委員のスムーズな進行のもと、事故やケガもなく、盛況のまま大運動会を終えることができました。

ふだんはなかなか会う機会のない他事業所の仲間と交流したり、あの人の意外な一面に出会えたりと、たくさんの笑顔に包まれた素敵な時間は、あっという間に過ぎ去り、思い出に残る一日となりました。

生活を、ご利用者様と一緒に実現していきます。そして、一人でも多くの方が、できるだけ長く自分の家で、自分らしく暮らせるよう、これからも様々な角度からお手伝いをさせていただきます。

【お問い合わせ（代表）】
025-522-3391